

園芸施設共済に

加入されている方の声をご紹介します



就農し継続的に農業を行うため

茅野市 古川 竜生さん (26) パセリ 8a ビニールハウス 4 棟

就農にあたり、ここ数年の異常気象や想定を上回る災害が頻繁に起きていることに不安を抱えていたところ、就農を支援していただいた方からNOSAIの園芸施設共済を紹介してもらい加入しました。

いつ何時どのような災害に見舞われるかわからない状況において、継続的に農業を行うためにはリスクに備えることがとても大切だと思います。今後は収入保険も検討し、あらゆるリスクに備えていきたいと思っています。(諏訪支所の担当職員によるインタビューより)



安心して農業を行うためゆくゆくは100%補償に



松本市 細田 雅大さん (41)

キュウリ 露地15a ハウス5a ビニールハウス 2 棟

2021年に新規就農し、キュウリを栽培しています。

キュウリ栽培農家にとって、ビニールハウスはとても大切な財産であり、農業は自然相手の産業なので万が一の備えが重要でまた必要だと考えています。

経営が軌道に乗ってきたら、ゆくゆくは手厚い100%補償に切り替えて加入しようと思います。

共済加入によって農業者が安心して農業ができ、今後、農業人口が増えることを期待しています。

(松塩筑支所の担当職員によるインタビューより)

未被覆のハウスが雪害により半壊

木曽郡木曽町開田高原 農事組合法人アースかいだ
代表理事 中村 健さん (63) トモロコシ5ha そば20ha
アスパラ4a 花豆14a ビニールハウス15棟

令和4年3月の大雪により、未被覆のハウスにもかかわらず倒壊。ビニールを張っていないハウスが雪で倒壊することは想定していなかったため、共済金の支払いをしていただけてとても助かりました。また、撤去・復旧費用の特約を付帯していたので、その費用についても上乗せで補償がありました。

最近では毎年のように想定外の自然災害が全国各地で発生していますし、資材高騰でハウスを補修・再建する費用も心配です。付保割合追加特約により補償を10割とすることも検討したいと思っています。

(木曽支所の担当職員によるインタビューより)

